



ライク・ワーク「自己実現」のため。

「やりがいを感じたい」など、働く目的は自己実現という考え方です。自分の好きな生き方を求めるから、「ライク・ワーク」と名づけています。自分の夢をかなえ、やりたいことを仕事にする。でもライク・ワークは、夢ややりたいことが見つからない人にとって、ちょっと焦りを感じてしまう言葉かもしれません。

3つ目の視点、ここが大切。人間は、一人で生きているわけではありません。社会をつくり、協力しながら生きていく。「社会に参加し」「社会に貢献する」ことも働くことの大きな目的です。賃金を得ないボランティアなども、そのひとつ。一生を通じて役割を果たすことから、「ライフ・ワーク」と名づけています。

ライス・ワーク 「経済的報酬」のため。

お金を稼いだり、賃金を得るためというのが、働く目的のひとつです。『お米を買う』『食べるため』という意味で「ライス・ワーク」としました。ライス・ワークは、趣味に費やすためや、今後の蓄えなど、経済的に豊かな人生を設計することを目的に働くという意味も含まれています。



ワーク・ライフ・バランスってなに?

「仕事と生活の調和」という意味。内閣府によると、「誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方ができる社会」のこと。

